

1 尿沈渣の円柱と腎機能マーカーの關係に
2 ついて

3
4 ○田村真衣1) 内本高之1) 伊瀬恵子1) 澤部祐司1)
5 松下一之1)2) 野村文夫1)2)
6 1)千葉大学医学部附属病院 検査部 2)千葉大学大
7 学院医学研究院 分子病態解析学

8
9 **【背景・目的】**従来、腎機能マーカーとしてクレア
10 チニンクリアランス (Ccr) が用いられてきたが、現
11 在蓄尿が不要な推算糸球体濾過量 (eGFR) が注目さ
12 れている。今回我々は尿沈渣中の円柱と eGFR の關係
13 と腎機能障害 2 症例による円柱検出と腎機能マーカー
14 について経過を追って調べた。**【方法】**1. 対象：当
15 院患者随時尿 367 検体(円柱陽性 317 検体と尿蛋白・
16 円柱陰性 50 検体) 2. 測定機器：BM6010(日本電子)
17 3. 検討項目：①円柱陰性群と陽性群における腎機能
18 マーカー (eGFR、蛋白クレアチニン比：P/C 比) と
19 の関連 ②円柱の種類と腎機能マーカーの關係 ③
20 硝子円柱陽性群のランク (+1~+3) と eGFR の關係
21 ④腎機能障害 2 症例における円柱と腎機能マーカー
22 の臨床経過に伴う変動。**【結果】**①円柱陰性群と陽性
23 群で eGFR、P/C 比に有意差を認めた ($p < 0.0001$)。円
24 柱陽性群では eGFR は低下し P/C 比は増加傾向を示し
25 した。円柱陰性群で eGFR 60mL/min/1.73m² 未満が 12%
26 に対し陽性群では 59% と高かった。②円柱陰性群と
27 比べ、硝子および顆粒円柱陽性群は eGFR が低下、P/C
28 比は増加傾向を示し、有意差を認めた ($p < 0.0001$)。
29 ③硝子円柱陽性群で円柱ランクの増加に伴い eGFR
30 が低下した。④腎機能障害症例を経時的に調べた所、
31 P/C 比が高値になると円柱の検出数と種類が増加し
32 eGFR は低下した。治療による eGFR の改善に伴い円
33 柱の検出数、異常円柱も減少した。**【結語】**尿沈渣中
34 の円柱は eGFR の低下、P/C 比の増加と相関し腎機能
35 を良く反映した。円柱陰性群と比較して硝子・顆粒
36 円柱陽性群では eGFR、P/C 比で有意差を認め、硝子
37 円柱は P/C 比 より eGFR の増加と一致した。以上よ
38 り円柱の検出は eGFR や P/C 比と良好な關係を示し、
39 腎機能評価に有用と考える。043-222-7171(6210)